

病院感染対策の業務指針

1. 病院感染発生状況についての把握と対策

- (1) 和歌山県感染症情報(WIDR)
- (2) 院内における感染発生状況
 - ①インフルエンザや感染性胃腸炎など流行性疾患の院内における状況と対策
 - ②MRSA、疥癬、C.ディフィシルのような病院感染の対象となる疾患のアウトブレイクに対する早期発見・早期対策

2. 病室管理・滅菌消毒関連

- (1) 手指消毒の励行、手指消毒薬・ハンドローションの選定
- (2) 非滅菌手袋の適正使用の推進
- (3) 環境整備(空調・環境消毒・環境清掃)

3. 職業的血液体液曝露事故(針刺し損傷等)防止関連

- (1) 針刺し損傷防止(リキャップ禁止、業務手順など)
- (2) 事故防止器具(安全装置付き注射針、廃棄ボックスなど)
- (3) PPEの適正使用

4. デバイス感染防止

- (1) 尿道カテーテル関連尿路感染(CAUTI)
- (2) 人工呼吸器関連肺炎(VAP)
- (3) 血管カテーテル関連血流感染(BSI)
- (4) 手術部位感染(SSI)

5. 病院感染対策サーベイランス

- (1) 抗菌薬使用状況(注射抗菌薬、特定抗菌薬、抗MRSA薬)
- (2) 各種報告書(特定感染症、手術部位感染、デバイス感染、職員感染症)
- (3) 院内におけるアウトブレイクの早期発見・早期対策・予防

また医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・理学療法士・事務員の6名で構成される感染制御チームが週に1回程度カンファレンスおよび院内回診を行い、県内の感染症発生状況の把握や院内におけるアウトブレイクの予防と対策、針刺し損傷等の防止に取り組む。